

特別企画展



辰五郎と 見た明治の衣生活 大転換



2017年10月19日(木) → 11月24日(金)

休館日＝日曜・祝日、10月30日(10月29日は学園祭のため開館)

開催場所＝東京家政大学博物館(東京家政大学内・百周年記念館5階 展示室)

開館時間＝9:30～17:00 入館無料

下車駅＝JR埼京線「十条駅」徒歩5分／都営三田線「新板橋駅」徒歩12分

期間中の催事

- ① 着装体験「渡邊辰五郎考案『改良服』を着てみよう」
 - ② ワークショップ「和紙で着物の雛形(ミニチュア)を作ろう」
 - ③ ギャラリートーク[当館学芸員による展示品解説]
- 詳しくは当館ホームページをご覧ください。

二代目校長 渡邊滋



校祖 渡邊辰五郎



 東京家政大学博物館

〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 Tel. 03-3961-2918 <http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutu/>



辰五郎と滋の見た 明治の衣生活 大転換

2017年

10月19日(木) ▶ 11月24日(金)

江戸末期の開国を経て、近代国家をめざした明治時代の日本は、欧米から多くの事物を取り入れ、人々の装いもまた大きく変化しました。その変化は「洋装化」ととどまらず、長らく日本人がなじんできた着物にもおよびます。さらに、羊毛やミシン等の新しい素材や技術の導入が、衣生活を根本から変えることになりました。

本学の校祖 渡邊辰五郎とその長男で二代目校長の渡邊滋は、まさにこの激動の時代を「裁縫」を武器に生き抜いたといえるでしょう。教育者として裁縫教育に尽力したのはもとより、まず自ら裁縫の技術に通じ、衣服への見識を深めました。

本展では、明治時代の洋服と和服のほか、洋裁の型紙や裁縫雛形など、衣生活の変化に関わる資料を展示します。辰五郎と滋の視点を取り入れながら、明治という大転換期に日本人がどのように衣服を選び取り、新たな衣生活を築いていったのかを探ります。



① 文官大礼服(上田萬年着用) 明治後期 ② ロープ・デコルテ(辰五郎四女着用) 明治末期 ③ 染分変わり織地菊牡丹芙蓉貝桶扇模様振袖 明治末期 ④ 改良服女物・改良袴(復元)平成24年 ⑤ 裁縫雛形「改良服女物・改良袴」明治38年 ⑥ 裁縫雛形「女東コート」明治42年 ⑦ 裁縫雛形「渡邊式改良袴」明治45年 すべて東京家政大学博物館蔵

■ 企画展関連イベント【すべて参加費無料・申込み不要】

① 渡邊辰五郎考案「改良服」を着てみよう

【日時】10/23(月)～26(木)、11/8(水)～11(土)
13:00～15:30

【参加方法】13:00～15:30に企画展受付へお越しください。

【所要時間】15分程度

* イベント用の「改良服」は当館が製作した現代のものです。

* 混雑時にはお待ちいただくことがあります。

② 和紙で着物の雛形(ミニチュア)を作ろう

【日時】11/2(木)、11/11(土) 13:00～15:30

【参加方法】13:00に企画展受付へお越しください。

【定員】各日16名(希望者多数の場合は抽選)

【内容】「雛形尺」(渡邊辰五郎が考案した縮尺)を

応用し、和紙で実物の1/6縮尺の着物を作ります。

③ ギャラリートーク

【日時】10/21(土)、11/1(水)、11/16(木) 15:00～

【参加方法】15:00に企画展受付へお越しください。

【所要時間】45分程度

【内容】当館学芸員による展示品解説

■ 博物館講座【事前申込み制・参加費無料】

「仏像入門Ⅲ—仏像の造形と表現—」

【日時】①11/18(土) ②11/25(土) ③12/2(土)

全3回 ※1回だけの参加も可

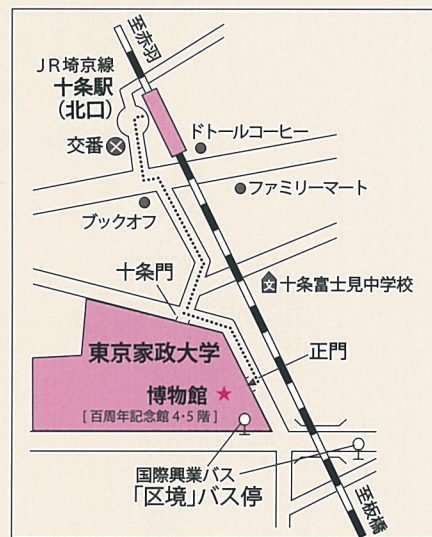
各回とも15:00～16:30

【定員】各回50名

【申込方法】当館HPまたは企画展受付にて受付

10/19(木)9:30～ ※定員に達した時点で受付終了

【講師】若林繁(本学造形表現学科教授・当館館長)



※JR 埼京線十条駅(北口)より十条門まで徒歩5分

※十条門より博物館まで徒歩3分

※正門におまわりいただくと分かりやすいです。